

## 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

### （1）学部

#### ① アジア太平洋学部

アジア太平洋学部は、学則に定めた教育研究上の目的を達するため、卒業要件を定めるとともに、卒業時に修得すべき学習成果として以下の4点に整理する。

#### （卒業要件）

所定の期間在学し、本学が定める履修要件に沿って124単位以上を修得することが、学位授与の要件である。入学基準言語として日本語基準と英語基準に分けられるが、いずれにおいても、共通教育科目40単位以上（言語教育科目含む）、専門教育科目62単位以上を基本的な要卒単位構造としている。また、日本語基準の国内学生については、国際社会で通用する実践的な英語運用能力と多文化コミュニケーション力を形成するため、英語で開講されている科目の20単位以上修得を卒業要件とする。

#### （学習成果）

- 1) アジア太平洋地域が直面する多様な諸課題の関心と理解
- 2) 基礎的な専門知識
- 3) 異文化コミュニケーション能力
- 4) グローバルな視点

#### ② 国際経営学部

国際経営学部は、学則に定めた教育研究上の目的を達するため、卒業要件を定めるとともに、卒業時に修得すべき学習成果として以下の4点に整理する。

#### （卒業要件）

所定の期間在学し、本学が定める履修要件に沿って124単位以上を修得することが、学位授与の要件である。入学基準言語として日本語基準と英語基準に分けられるが、いずれにおいても、共通教育科目40単位以上（言語教育科目含む）、専門教育科目62単位以上を基本的な要卒単位構造としている。また、日本語基準の国内学生については、国際社会で通用する実践的な英語運用能力と多文化コミュニケーション力を形成するため、英語で開講されている科目の20単位以上修得を卒業要件とする。

#### （学習成果）

- 1) ビジネスエシックス
- 2) 基礎的な専門知識
- 3) 異文化コミュニケーション能力
- 4) グローバルな視点

左記の Learning Goals ごとに、さらにそれぞれ3つの Learning Objectives が定められている。

## (2) 大学院

### ①-1 前期課程・アジア太平洋学専攻

アジア太平洋研究科前期課程・アジア太平洋学専攻は、学則に定めた教育研究上の目的を達するため、修了要件を定めるとともに、修了時に修得すべき学習成果として以下の3点に整理する。

#### (修了要件)

所定の期間在学し、本学が定める履修要件に沿って、修了要件単位数を修得し、論文または特定の課題の審査に合格することが、学位授与の要件である。

アジア太平洋研究科博士前期課程アジア太平洋学専攻は、修了要件単位を32単位以上とする。アジア太平洋地域関連科目から4単位、演習科目から4単位、主要科目のうち該当する研究分野科目から10単位を含めて32単位以上とする。ただし、必修科目は全科目を修得するものとし、自由科目は修了に必要な単位数に含まない。修了要件単位を修得することに合わせて、修士論文または特定の課題(研究レポート)による研究の成果についての審査を受け、その審査合格をもって修了および学位授与を認める。

#### (学習成果)

- 1) アジア太平洋地域が直面する多様な諸課題の広範な知識と理解
- 2) 高度な専門知識
- 3) グローバルな視点

### ①-2 前期課程・国際協力政策専攻

アジア太平洋研究科前期課程・国際協力政策専攻は、学則に定めた教育研究上の目的を達するため、修了要件を定めるとともに、修了時に修得すべき学習成果として以下の3点に整理する。

#### (修了要件)

所定の期間在学し、本学が定める履修要件に沿って、修了要件単位数を修得し、論文または特定の課題の審査に合格することが、学位授与の要件である。

アジア太平洋研究科博士前期課程国際協力政策専攻は、修了要件単位を32単位以上とする。アジア太平洋地域関連科目から4単位、演習科目から4単位、主要科目のうち該当する研究分野科目から10単位を含めて32単位以上とする。ただし、必修科目は全科目を修得するものとし、自由科目は修了に必要な単位数に含まない。修了要件単位を修得することに合わせて、修士論文または特定の課題(研究レポート)による研究の成果についての審査を受け、その審査合格をもって修了および学位授与を認める。

#### (学習成果)

- 1) アジア太平洋地域が直面する多様な諸課題の広範な知識と理解
- 2) 高度な専門知識
- 3) グローバルな視点

### ①-3 後期課程・アジア太平洋学専攻

アジア太平洋研究科後期課程・アジア太平洋学専攻は、学則に定めた教育研究上の目的を達するため、修了要件を定めるとともに、修了時に修得すべき学習成果として以下の4点に整理する。

#### (修了要件)

所定の期間在学し、本学が定める履修要件に沿って、修了要件単位数を修得し、論文の審査に合格することが、学位授与の要件である。

アジア太平洋研究科博士後期課程においては、博士学位候補必要単位数 24 単位を修得し、博士学位候補資格審査に合格することで博士学位候補者となり、博士学位請求論文を提出することが認められる。修了要件単位数 30 単位（博士学位候補必要単位 24 単位を含む）を修得し、博士論文の審査合格をもって、修了および学位授与を認める。

#### (学習成果)

- 1) アジア太平洋地域が直面する多様な諸課題の広範な知識と理解
- 2) 高度な専門知識
- 3) 基礎的な研究者として研究を遂行する能力
- 4) グローバルな視点

### ② 経営管理研究科

経営管理研究科は、学則に定めた教育研究上の目的を達するため、修了要件を定めるとともに、修了時に修得すべき学習成果として以下の4点に整理する。

#### (修了要件)

所定の期間在学し、本学が定める履修要件に沿って、修了要件単位数を修得し、論文または特定の課題の審査に合格することが、学位授与の要件である。

経営管理研究科修士課程は、修了要件単位数を 44 単位以上とする。必修科目は全科目を修得するものとし、専門科目から 8 単位を含めて 44 単位以上とする。ただし、自由科目は修了に必要な単位数に含まない。修了要件単位数を修得することに合わせて、修士論文または特定の課題（ファイナル・レポートまたはケース・スタディ）による研究の成果についての審査を受け、その審査合格をもって修了および学位授与を認める。

#### (学習成果)

- 1) Business Ethics
- 2) Advanced Knowledge of Discipline
- 3) Sense of Innovation
- 4) Global Perspectives